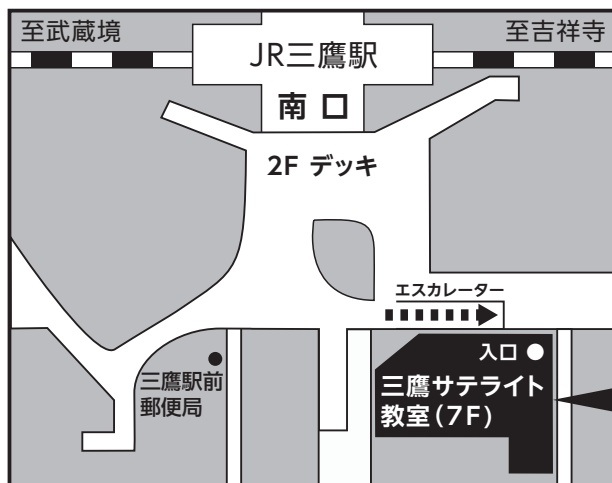


歌僧西行とその時代の和歌を読む

受講料 (振込額)	12,500円				
必携テキスト	『西行全歌集』〔岩波文庫 / 久保田淳 吉野朋美 / 2013年12月 / 1,386円〕				
講座概要	曜日	火曜日		日程 4月16・30日 5月14・28日 6月11日	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		40名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F / 大教室			
講師	元武蔵野女子学院中学・高等学校教諭 上村 正人 (かみむら まさと)				
	1938年生まれ。1960年、東京学芸大学乙類国語科(漢文専攻)卒。同年武蔵野女子学院中学高校国語科教諭(古文・漢文・現代文担当)。2003年3月、同上校定年退職。その間、東京学芸大学名誉教授・故安良岡康作氏(中世文学・国語教育専攻)に師事し日本中世文学を中心に研究。中世文学会、仏教文学会、解釈学会、日本文学協会にも所属してきた。なお本学生涯学習講座においては、「西行の和歌」「徒然草(抜粋)」「方丈記」「奥の細道」「野ざらし紀行」「鹿島詣」「笈の小文」「更科紀行」「嵯峨日記」「百人一首」「伊勢物語」「西行の歌と人生」「紀貫之の文学(「土佐日記」「古今集)」「和歌文学史入門」「十六夜日記」「とはずがたり」「建礼門院右京大夫集」「平家物語」,「源氏物語宇治十帖」「万葉集」をとりあげている。				
内容	歌人としても名高い西行法師(生没1118-1190)は平安時代の最後に生きた歌人で、その歌集「山家集」共々人々に好かれている歌僧である。でも、その人生にはいろいろ考えなくてはならない多くの謎があり、その歌の優美さとは逆の厳しい僧侶としての生き方があった。第一、23才で武士の家と妻子を捨てて出家した事情から謎である。一首々々を味わうと共に、その人生と時代背景や美意識を考えてゆこうと思います。				
	<p>(持ち物)毎回のプリント類(順番に綴じておくか、ファイルしておいて下さい)、古語辞典(あれば結構です。)</p> <p>①4月16日：西行の生きた時代とその時代の代表的歌人たち。 ②4月30日：西行の生涯と出家した事情(その頃の作からの推定) ③5月14日：西行の交際圏の人々とその歌。 ④5月28日：西行の歌の最多を収める「新古今和歌集」の特色。 ⑤6月11日：「山家集」という歌集の特色と名歌の数々</p>				



武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013
東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビル

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR 三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1F入口からお入りください

- 「受講の手引き」を必ずお読みの上、ご参加ください。